

なんこく 市議会だより

No. 81

平成29年(2017年)5月号



場所：スポーツセンター

主 な 内 容

《3月定例会市議会(第394回)》

国保税5年ぶりの 引き上げ

2カ所目の地域包括支援
センター設置へ

ごみのポイ捨て防止・
犬のふん放置防止重点地域を
市内全域に拡大

平成29年度一般会計当初予算
206億7,000万円

《特別委員会視察レポート》

《なんこく歳時季 巻2》

・岡豊城跡櫓(やぐら)

●3月定例会市議会の会議録は、
6月上旬以降、市ホームページ
(<http://www.city.nankoku.lg.jp>)、
議会事務局(市役所5階)のほか、
市立図書館で閲覧できます。

●次回の定例会は6月9日開会予定で
す。傍聴はどなたでもできます。

発行／南国市議会
E-mail:n-gikai@city.nankoku.lg.jp

編集／市議会だより編集委員会
南国市大堀甲2301 TEL 088-880-6570 FAX 088-864-3281

第394回 3月定例市議会

国保税5年ぶりの引き上げ

2カ所目の地域包括支援センター設置へ

ごみのポイ捨て防止・犬のふん放置防止 12月議会の議論を経て重点地域を4月より市内全域に拡大

第394回定例市議会は、3月3日から21日までの19日間の会期で開かれました。
市長提案の議案37件、報告4件と議員発議の修正議案1件、意見書4件の審議が行われ、修正議案を除く全議案を可決・同意し、意見書2件を可決しました。

3月定例議会初日、まず市長より平成29年度の主要施策についての施政方針が述べられ、行財政改革、災害に強いまちづくり、移住促進、※マイナポータル等の活用による子育てワンストップサービスなど住民サービスの充実、高齢者数の増加に伴う市内2カ所目の地域包括支援センターの設置、国営ほ場整備事業の進捗状況、小学校への空調設備の整備などの説明が行われました。

次に今議会へ提出された議案の提案理由が説明され、国保税については28年度の歳入が約1億7千万円不足し基金を充てても7千万

の赤字となる見通しのため、29年度に引き上げを行う旨の条例改正案の提案がありました。また震災対策として、木造住宅耐震診断の受診率向上のため、耐震診断の手数料を徴収しない旨の条例案が提出されました。

7日から13日まで休会を挟んで4日間は、16名の議員から一般質問として教育、福祉、子育て、農業など市長への質問や提案が行われました。この中で、2年後の市制施行60周年記念事業としてミニバイクのご当地プレイト導入の検討、今秋供用開始予定の中学校給食センターでの地元住民の雇用などについて

答弁がありました。

14日は提出議案への質疑と人事案件1件の採決が行われ、人事案件は全会一致で同意となりました。また、残余議案は所管の常任委員会へ付託されました。

15日は新年度当初予算に対する全議員での連合審査会、翌16日には総務、産業建設、教育民生の各常任委員会で付託議案の審議を行いました。

21日の閉会日には各常任委員長から審議の結果についての報告が行われましたが、議案第14号「国民健康保険特別会計予算」に対して、土居篤男議員他3名より国民健康保険税の歳入を減額し、一般会計からの繰り入れを増額する旨の修正案の提出がありました。質疑、討論の後採決に移り、議案第14号の修正案については賛成少数で否決、その他の全議

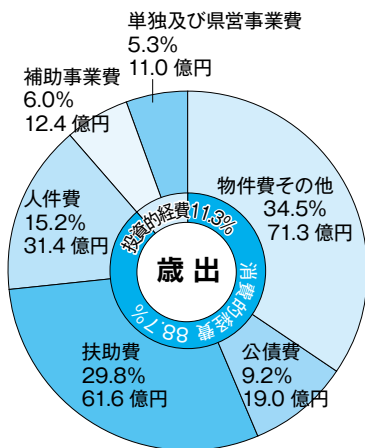
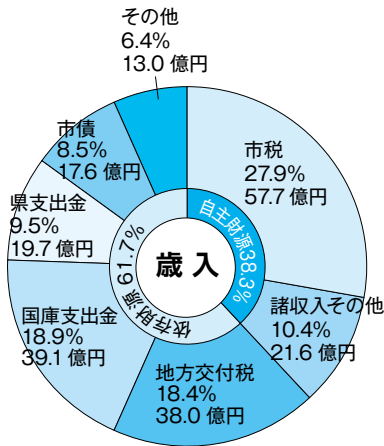
案についてはいずれも原案のとおり可決となりました。

また、議員から4件の意見書が提出され、「無料公衆無線LAN (Wi-Fi) 環境の整備促進を求める意見書」「主要農作物種子法の廃止に反対する意見書」の2件は全会一致で可決し、「共謀罪の創設に反対する意見書」「公職選挙法改正を求める意見書」の2件は賛成少数で否決し、閉会しました。

(15ページ参照)

※マイナポータル：マイナンバー制度で個人情報に設けられるポータルサイトの名称。行政機関の特定個人情報内容やそのやり取りの記録、自分への通知などをパソコン等で閲覧できる。

平成29年度一般会計当初予算 206億7,000万円



街路事業・給食センターなど 建設事業費減により 前年度比7.1%の減額予算

◆主な可決議案等

(議決結果は15ページ)

議案第10号

★29年度一般会計予算

総額は206億7千万円で、前年度当初予算に比べ15億7千万円(7.1%)の減額。

▼歳入

一般財源である市税、地方交付税等の総額は121億8544万円で、前年度に比べ0.8%の減となっています。

市税は全体として約1億3千万円の増となりますが、地方交付税・臨時財政対策債では約2億円の減が見込まれています。

▼歳出

主な歳出は次の通り。

▽総務費関係：電子自治体推進事業費、ふるさと応援基金積立金

▽民生費関係：障害者自立支援給付事業費、生活保護扶助費

▽衛生費関係：保健衛生予防費、塵芥処理関係事業費

▽農林水産業費関係：農業振興育成補助金等事業費

▽商工費関係：商工振興費、企業立地促進奨励金、観光費

▽土木費関係：道路維持費、社会資本整備総合交付金事業費、都市再生整備事業費

▽消防費関係：消防施設費、防災費

▽教育費関係：小・中学校コンピュータ教育事業費、給食センター整備事業費

議案第14号

国民健康保険特別会計予算

予算総額は約68億8千万円で、対前年度約2770万円の増額です。

議案第21号

国民健康保険税条例

の一部を改正する条例
平成28年度の決算で医療費や後期高齢者支援金等の負担の増により国保財政調整基金の全額を歳出に充当する見込みとなり、平成29年度の歳入不足を補うために税額の改定をするものです。

議案第22号

手数料徴収条例の一部を改正する条例

震災対策として、木造住宅耐震診断の受診率向上のため、耐震診断の手数料を徴収しないよう条例の一部を改正するものです。

議案第35号

普通財産の無償貸付

けについて

南国オフィスパークセンターの敷地については高知県と本市が取

得した土地を無償で貸し付けていますが、平成29年3月31日で貸付期間が満了します。同センターは企業誘致や創業支援で公共性を有する事業を行っており、県と協議し引き続き2年間の無償貸付を行うようにするものです。

議案第36号

普通財産の無償貸付

けについて
県内外の事業所から本市へ移転・進出等の要望が多く寄せられています。南国オフィスパークセンターは入居率が100%のため受入れができない状況です。新たな受入先として別棟の建設を計画するにあたり、同センターから市が所有する土地の無償貸付の要請があり、企業誘致の推進のため無償での貸付を行うようにするものです。

執行部に問う

一般質問

3月議会では、農業・福祉・観光・教育など市政全般について4日間にわたる一般質問が行われました。それぞれの質問内容の一部を要約してご紹介します。

◇3月議会で行われた主な質問項目◇ (質問順)

- 1 高木正平** ①緊急地震速報 (緊急情報の伝え方・伝わり方、適切な行動) ②聴覚障がい者の「119番通報」 ③全国体力テスト (調査結果と評価・課題、運動の日常化) ④成人式 ⑤公民館の利用と使用料
- 2 神崎隆代** ①まちづくり (無電柱化) ②公衆無線LAN環境の整備 (Wi-Fi機能付き自販機の設置提案) ③子育て支援 ④「都市鉱山」活用 (小型廃家電からオリジックメダルを作るプロジェクト)
- 3 土居篤男** ①緑ヶ丘市有地切土監査請求について ②臨時職員数と財政について ③DHCとの協定について ④中学生自死調査について ⑤西島園芸団地特別委員会視察より何を学ぶか
- 4 植田豊** ①南国市の鳥オナガドリ、木ヤマモモ、花タチバナをデザインしたご当地プレートの導入について ②南国市版C R C (なんこく市生涯活躍のまちづくり) について
- 5 今西忠良** ①防災行政 (南海トラフ巨大地震に臨む姿勢、木造住宅耐震改修工事、空き家等対策の推進) ②教職員の多忙化問題 ③学校の部活動 ④子ども食堂への支援と対策 ⑤子どもの貧困調査の状況
- 6 山中良成** ①市長の政治姿勢について 財政、観光 (観光ストーリー作成、広域観光、道の駅改善、SNS利活用)、防災 (LPガスハイブリッド発電機) ②吾岡山都市公園構想 (運動公園・文化施設)
- 7 浜田和子** ①市長の政治姿勢 (国保について) ②教育行政 (特別支援教育について・大篠小学校隣接校選択制度について) ③防災 (道路の空洞化調査について・防火シャッターについて) ④地籍調査
- 8 土居恒夫** ①まちづくり (南国駅前線無電柱化・JRごめん駅駐輪場) ②災害に備えて (ドローンの活用・ペットの避難) ③民生委員の周知 ④教育環境 (中学校部活動・制服リユース)
- 9 村田敦子** ①個人番号 ②市民の雇用 (給食センターは地元雇用を、各工業団地でも) ③子ども食堂ごめんこどもクッキングへの協力 ④就学援助 (3月支給を・クラブ活動へも援助を) ⑤原発
- 10 西川潔** ①市北部地域の生活環境対策 (道の駅「風良里」の新たな活用策) ②瓶岩体育館への架橋、進入道 ③早急な実現に向けて
- 11 中山研心** ①南国市のまちづくり ②耐震診断の対象範囲拡大 ③ふるさと納税のあり方 ④本人通知制度を実効あるものにするために ⑤緑ヶ丘切土問題の市の対応と監査請求
- 12 前田学浩** ①農業政策 (シシトウの振興策) ②教育行政 (大篠小学校の隣接校選択制度、保育所・保育園の統廃合、英語・ICT教育、南国市中学生自死)
- 13 野村新作** ①道路行政 (緊急車両の通り難い市道、市道未登記) ②財政 (委託料、清掃委託)
- 14 浜田勉** ※欠席
- 15 有沢芳郎** ①農業用水路・水利権について南国市の認識 ②土地改良区内での開発に伴う工事とその手続きについて ③空港インター線の問題について ④都市計画における岡豊町の位置づけ ⑤産業拠点の活用は
- 16 浜田憲雄** ①民生児童委員活動の現状と課題 ②小集落公民館の設備維持支援について ③環境センター (し尿処理場)、浜改田農集処理場の地震津波対策について
- 17 福田佐和子** ①教育行政 (中学生の自死と再発防止策について) ②国保税引き上げについて

高木正平 議員



緊急地震速報の対応

問 緊急地震速報はテレビやラジオ、携帯電話で聞け、防災行政無線も一斉に伝えるが、

その伝わり方に不備はないか。また地震の強い揺れからとつさに身を守るなど適切な行動をとる反射対応訓練「シェイクアウト訓練」などの取り組みを聞く。

答 防災行政無線の聞こえ方は、天候や風向きなどにより左右され、一斉放送ではなく時間差での放送を行うなど工夫して放送をしていますが、音が重なり内容がわからないなどの御意見があります。今後引き続き、放送方法など検討、改善していきます。シェイクア

聴覚障がい者の「119番通報」

問 聴覚障がいや病氣などで言語機能などに

障害を生じ、会話が困難な方が、もしもの時の緊急通報「119番通報」を行えるよう言葉・音声以外にスマートフォンなどのタッチで通報できる緊急通報システムの早期の実現を求め、導入について聞く。

答 聴覚や言語機能に障害がある方々に対する対応として全国の消防本部の大半がファク

ス通報を採用しており、南国市も平成19年4月からファクスによる119番通報の運用を開始しています。スマートフォンを利用しての119番通報は平成28年4月1日現在全国で145の本部が導入していますが、県内ではまだ導入されていません。ウェブ通報システムは事前に消防本部に登録する必要があります。とやシステムの開発業者が限定されること、通信障害の発生など課題もあり、現在総務省消防庁でシステムの技術的仕様など119番通報の多様化に関する検討会が開催されています。その報告などを踏まえて導入に向けて研究、検討を進めたいと考えています。

神崎隆代 議員



まちづくり（無電柱化）について

問 電線を地中に埋設する無電柱化は、震災

時の倒壊被害防止とともに歩道の安全性・景観の向上が見込めるが、コスト面で大きなハードルがある。今後のまちづくり・道路整備に合わせることでコストが削減できると考えるが、市の考えを問う。

答 道路の無電柱化は地震で倒壊する電柱による道路の寸断を防ぎ、道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間を確保するなど、安全・安心なまちづくりの観点からもその必要性及び効果は大きいと認識しています。しかし、無電柱化は電柱を使用

する場合に比べて非常に高い整備費用が必要となることなどから、これまで本市においては道路の無電柱化は進んでいない状況です。都市計画道路南国駅前線等の整備に合わせた無電柱化については今後国などの財政上の支援策や低コスト工法の研究開発の進展などを注視しつつ、本市の財政状況や電線管理者、地域住民の意向を踏まえながら検討したいと考えています。

公衆無線LAN（Wi-Fi）環境の整備を

問 3月4日開幕した

幕末維新博や大型クルーズ客船の来高増加により、今後観光客の増加が見込まれる。外国人観光客のニーズが高く、地域活性化や災害時の通信確保のためにも観光地や施設へ簡単に設置できるWi-Fi機能付き自販機導入を提

案する。

答 Wi-Fi機能付きの自動販売機は、観光面からは外国人を初めとする観光客の誘致や観光情報の発信に、また

防災面からは災害時の通信手段として効果があり、Wi-Fiポイントを増やすことは特に観光客誘致には欠かせないと考えています。フリーWi-Fi自販機のサービスは設置企業の負担で行われるものであり、設置の可能性などについて調査をいたします。



Wi-Fi自動販売機

土居篤男 議員



中学生自死について

問 南国市内中学生自死調査委員会の調査では市教委への聞き取りが行われていない。しかし、結論には「市教委」も対応するよう求められており、疑問である。

また、13 回開催された委員会の議事録は無いとのことだが、報告書は何に基づいて書かれたもののなのか。

答 事実関係の確認においては、教育委員会学校教育課としても調査専門委員会からの情報提供指示や聴取に応じており、その内容も踏まえた再発防止の提言をいただいています。また、調査専門委員会の設置等について定めた条例及び施行規則に

は議事録の作成を義務づけた規定が無く、委員長は発言の記録が自由な意見交換、議論に対する制約となりにかねないと判断して作成に至らなかったと回答しています。報告書については 6 名の委員がそれぞれ専門的な立場から文章を起こし、相互に審議してまとめたものです。

西島園芸団地再建

問 再建に向けた特別委員会の視察を行い、いろいろな取り組みを学んだが、どの視察先でも運営力のある経営者がいる。自らの「会社」として責任を持つ経営陣、人材の育成が重要であるが、西島園芸団地の今後の展望を聞く。

答 組織をよくしたいという思いを持ち、また地域への愛着を持った従業員の育成は重要であり、西島園芸団地

では 2 年前から、積極的に研修や従業員が経営を考える取り組みを通して職場改善を考える検討チームなどを立ち上げています。この取り組みを継続して行っていくことが、人材を発掘し、将来管理職や経営に携わる人員を育てるとともに地域の観光や産業の振興に寄与するものと考えています。研修から学んだとおり、人材育成について今後一層力を入れて取り組みたいと考えています。



植田 豊 議員



ご当地プレート導入

問 原付バイクのナンバープレートは自治体で自由に決める事ができ、県内でも坂本龍馬やはりまや橋などのご当地プレートが導入されている。2 年後に市制 60 周年を控え、機運を盛り上げるためにも市の財産であるオナガドリ・ヤマモモ等を導入してはどうか。

答 ご当地ナンバープレートの魅力は一目で市町村の魅力を伝えることが可能であり、動く広告塔として地域振興や観光振興に役立つものとして現在多くの市町村でオリジナルのナンバープレートが交付されています。導入については節目を視野に入れ

た政策が望ましいと考えており、広くデザインを募集するなど市制施行 60 周年の記念事業の一つとして、検討したいと考えています。



南国市版

CCRC 構想

問 高齢者が地域社会において健康でアク

ティブな生活を送り、医療や介護が必要になればすぐに継続的なケアを受けられる地域を目指す CCRC 構想は、高齢化移住の受け皿づくりの上で重要である。南国市版 CCRC の構想を問う。

答 CCRC 構想の候



補地として、高知大学医学部附属病院を中心とした岡豊地区は、条件面でもすぐれた地勢にあると考えています。南国市版 CCRC を岡豊地区で実現できれば移住促進が進み、医学部の職員や学生、そして地域の住民との交流が図られ、地域の活性化、コミュニティの維持にもつながります。誰もが安全で心豊かに暮らし続けることができるまちづくりの観点からも、調査研究を進めたいと考えています。

今西忠良 議員



木造住宅の耐震化

問 地震対策において自助の大前提は住宅の耐震化である。耐震改修工事の進捗状況と改修後の検査や効果の検証など工事完了にあたっての体制や作業手順について問う。

答 事業を開始した平成15年度から平成28年度までの実績は、耐震診断が1403棟、耐震設計が504棟、耐震改修工事が495棟の家屋で行われ、住宅の耐震化率はおよそ70%となっています。住宅耐震改修工事の検査手順・体制については実績報告書の提出後、本市の担当職員が住宅耐震改修工事後の精密診断法による耐震診断

報告書や全ての補強箇所の補強内容が確認できる工事写真等の書類を検査し、その後担当職員と耐震診断士が現場に出向き、適正に工事が行われているかを検査しています。

子ども食堂への運営支援と対策

問 子ども食堂は、地域住民らがひとり親や共働き家庭など様々な事情を抱える子ども達に無料や低料金で食事を提供する活動であり、県による基金化と食堂運営が財政面でも担保された。市の立ち上げ状況と活動の継続支援について問う。

答 高知県では平成29年度に子供の居場所づくり推進事業を新たに創設し、子ども食堂への支援を行います。当事業は、新規立ち上げ段階の支援として、開設運営手引書の作成、開設準備講座の開催な

どを実施するほか、既に活動を実施している段階の支援として、当市で活動している「ごめんこどもクッキング」も参加しているネットワーク会議の開催や、子供の居場所利用促進研修会を開催し、いずれの段階でも子供の居場所づくり推進コーディネーターが助言を行います。



吾岡山都市公園構想



山中良成 議員

問 土曜市に隣接する南国中央公園は、運動公園・文化施設を併設する都市公園としての機能が無い。国は働き方改革を推進しており、家族が集える場所として吾岡山とその周辺に整備してはどうか。また、市長の諮問機関として都市公園の審議会立ち上げを求める。

答 南国中央公園は都市計画決定の後、長期にわたり未整備のまま現在に至っています。市民の休息の場となるほか、災害時の避難所や災害防止効果もあり、できるだけ早期に整備する必要があります。今後都市計画道路、南国駅前線の国道55号線

への延伸事業に合わせ一体的に整備を進めたいと考えています。また吾岡山周辺の整備については、以前に船岡山の土地購入を断られた経緯があり、今のところ考えていません。審議会の設置については今後検討いたします。

道の駅南国経営改善

問 道の駅は県内外や海外からの観光客が多く訪れ、市の観光の重要なポイントである。観光客目線はもちろん、観光客と接している女性スタッフの意見を取り入れた経営改善に挑戦すべきだ。免税店の設置やクレジット決済の導入等について問う。

答 従業員の接客や経営向上に向けての取り組みについては、行政も加わった定例会やミーティングなど定期的な運営協議の場を設けて、問題点やその解消案等の提起や情報の共

有を図っています。道の駅南国風良里のパンフレットも3月中にリニューアルの予定で、他のパンフレットなどと整理整頓して配置するとともに、インフォメーション無人化の解消や多国籍語サインなどのアナウンスによりお客様のスムーズな回遊を図ります。また、免税店やクレジット決済の導入についても検討を進めていきます。



浜田和子 議員



国保税率改定

問 28年度の国保会計は約7千万円の赤字の見込みであり、29年度に税率改定がされる。さらに30年度は県単位化による税の引き上げの見込み。社会構造上のやむを得ない事態であるが、市長は何らかの形で市民負担の軽減を図るべきだ。ごみ袋代の値下げを提言したい。

答 医療費の負担軽減に対しては、特定健診の結果やレセプトデータを活用、分析したデータヘルス計画に基づく生活習慣病予防や重複受診の適正化などの事業を実施し、医療費適正化に取り組む必要があります。また、保

険者の努力に応じて交付される支援制度の活用として、特定健診の受診率向上、ジェネリック医薬品の使用促進、国保税収納率の向上により、歳出の抑制と歳入の確保に引き続き努めていきたいと考えています。なお、市民負担の軽減についてはすぐにお答えができませんが、真摯に考えたいと思います。



道路の空洞化調査

問 東日本大震災直後から地下の空洞の発生率はそれまでの10倍以上といわれる。道路陥没など二次災害の防止のため早急な調査・対策が求められる。災害時の避難路や緊急輸送道路の確保のため、路

面下空洞調査を行うべきだと思いが所見を問う。

答 現時点では南国市が管理する道路では埋設が深い構造物、埋設管等が無いので大規模な地盤沈下は起こらないと考えており、調査を行う段階ではないと考えています。しかし、下水道管・水道管の老朽化による比較的小規模な陥没は全国的に発生しており、主要な幹線は老朽化に対する調査を行っています。道路の路面状況についても補修による巡回点検を日々行っており、今後さらに点検等を強化して市民の安全な通行を確保していきたいと考えています。



土居恒夫 議員



まちづくり・駐輪場に雨除け対策を

問 JR後免駅駐輪場には、約300台の自転車が増え、約300台の自転車が駐輪されている。しかし駐輪場には屋根が整備されておらず、雨ざらしの状態。利用している学生や市民が不快感なく気持ちよく通学・通勤できるように、屋根の設置を望む。

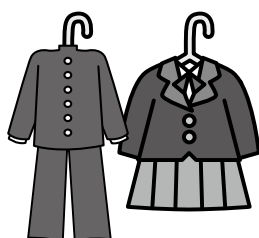
答 JRごめん駅前広場の整備において、概略設計の段階では新たな駐輪場の設置計画はなく、現在ある西側駐輪場に対応することになります。現地を確認し、子供達、自転車が濡れないような対応をしたいと思っています。



学生服リユース

問 中学校の制服には成長期の買い換えも含め、多額の費用がかかる。教育委員会や社会福祉協議会・PTA等が窓口となり、全国的に学生服リユース(再利用)の取り組みが広がっている。保護者の負担軽減、そして物を大切にする観点から市も取り組みを求める。

答 貧困家庭や厳しい環境にある子供たちの入学時の消費負担は大変大きく、その中でも制服は必要かつ費用が高額です。多くの家庭でも負担となっている中、卒業生等の制服を再利用するリユースの動きが出ています。現在市内の4中学校では提供の呼びかけはしていませんが、卒業の際に保護者から自主的に提供していただくことがあります。提供していただいた制服は保健室等に保管しておき、必要な時に貸し出しを行うことがあります。また、南国市社会福祉協議会が制服の提供について協力を呼びかけており、今後は社会福祉協議会への活動協力等も検討したいと考えています。



村田敦子 議員



市民就業の妨げ個人番号は不記載で

問 事業所に送付予定の住民税特別徴収通知書への個人番号記載は自治体の義務ではなく、不記載での国のペナルティもない。高知市はリスクを考慮し不記載なのに、南国市が記載することにより事業所に管理義務が発生するケースも。記載中止を。

答 住民税特別徴収通知書への個人番号記載は、特別徴収義務者と市町村との間で正確な番号を共有し、個人住民税の事務手続を通じて番号法が目的とする公平・公正な課税や事務の効率化につながる、法に基づいて定められたものであり、本

市では法令に基づいた取り組みをする予定です。個人番号は厳格な安全管理措置が求められています。従来から記載している収入金額や各種控除等の課税内容も秘匿性の高い個人情報であり、引き続き適切な安全管理を講じていただければと考えています。

発電コスト一番高い原発再稼働なぜ



える。即時停止・廃炉を求めよ。

答 原発は確かに一度事故を起こすと環境も含めて国民生活に重大な影響を及ぼします。そういった意味で早期に再生可能エネルギーへの転換が必要と考えていますが、原発の即時廃止はなかなか困難な面があり、将来的に段階的に原発廃止の方向へ進めていくほうがベターではないかと考えています。なお、原発の再稼働については、本市としては直接賛否を申し上げる立場ではありませんので御理解をお願いします。

※発電コスト比較
(1k Whあたり)

水力	3.9円
火力	9.9円
原子力	13.5円

立命館大学大島堅一教授
「原発の発電コストへの影響」より

道の駅「風良里」の新たな活用



西川 潔 議員

問 本市の地域おこし協力隊員のチームから、道の駅「風良里」を活かし、北部地域の拠点施設として地域住民の交通、買い物などの問題解決を図る事業提案があった。今後、この提案にどのような取り組みでいくのか聞く。

答 道の駅風良里の中山間地域の中心拠点としての活用としては、事務所と交流スペース等を設け、そこに常駐する集落支援員による買い物支援、見守りサロンといった住民の生活全般の支援や定期的な集落の課題取りまとめ、相談対応、また各集落から道の駅まで既

存のデマンドタクシーの乗り入れも検討しています。道の駅風良里は中山間地域の活動を集約する絶好の立地であるとともに、市街地だけでなく中山間地域にアクセスしやすく、地域の特産物の発信、現在有効活用されていない県施設情報棟の再活用、また産直市やカフェレスト、農家レストランなどの集客力と道の駅としての信頼性と機能性などメリットがあります。検討すべき点も多くありますが、29年度中に計画の施工に着手して一定の成果を上げ、事業化の可能性を判断しなければならぬと考えています。

瓶岩体育館への架橋、進入道の実現

問 瓶岩体育館への橋梁・進入道は、地域住民の長年の悲願。再三の議会質問でも、必要性を認めるも主に多額

の建設費を理由に実現に至っていない。このたび地元企業より、橋梁本体の寄贈の申し出がされているが、早期の架設に向け、実現性を問う。

答 瓶岩体育館は避難所の指定をしており、その避難路として橋の架設と進入路の2つの案が地元から出されていますが、まだ結論は出ていません。まず地域で結論を出していただき、その後現地調査を行い、関係機関と協議をして早急に取りかきたいと思っています。なお、急傾斜地と指定されている地域に避難も含めた道路を新設するののかという問題がありますので、安全・安心を最優先にしたいと考えています。

中山研心 議員



緑ヶ丘切土問題

問 仁井田産業団地の用地として高知市に売却交渉を行っていた業者が、一方で南国市に太陽光発電施設建設を理由に払下申請を行った事実によりのような感想を持つのか。市長、副市長に問う。

答 産業団地の用地についての高知市と業者との間の話が、事実であるかどうか承知していませんでしたが、南国市としてこの山の回復について業者とずっと話をしてきた中では、市の指示は真摯に守っています。全く信頼できない会社であるとは考えていません。



仁井田産業団地予定地 (高知市)

監査請求

問 緑ヶ丘の切土問題で業者に現状回復を行わせない決定に対する住民監査請求について、住民への最終回答日である12月21日の時点で請求期限を過ぎているという理由で却下したのは理不尽ではないか。

答 住民監査請求の起算日は当該行為のあった日、または終わった日と規定されています。今回の住民監査請求は、山を切り取ったことから出されたところですが、

が、この山を切り取るに至ったことは、市から業者に対して行った平成27年2月の市有財産の工事許可にあります。この日が当該行為のあった日であり起算日となります。

終わった日は工事許可を取り消した平成27年11月となり、当該行為のあった日及び終わった日のいずれについても1年を経過しており、このことは却下の理由として明確にしています。

前田学浩 議員



シントウの振興策

問 南国市農業のシントウであるシントウは、現在も百名を超える農家が生産をしている。近い将来、パック詰め作業が大きな課題になると思うが、その作業の効率化・自動化への取り組みを伺う。また、含有色素のクロロゲン酸を生かした加工品等への振興策を伺う。

答 人手・労働力不足はシントウに限らず農業全般にわたり本当に深刻な状況で、園芸農家の約4割で労働力不足が発生しています。以前シントウの機械化について実現段階までこぎつけましたが、ロスが多いなど精度に欠ける面や設備導入の負

担が大きいことから断念した経緯があります。しかし、JAとの協議の中でもニラの定植期と並んでシントウのパック詰め機械化は重要事項として上がっており、3JA合同シントウ部会の中で労働力対策をさらに進めていきます。また、シントウに含まれるクロロゲン酸ポリフェノールには、抗酸化作用や脂肪肝・糖尿病予防などの効果があるとのこと、店内で情報共有しながら健康食品づくりにつなげていければと考えています。

南国市中学生の自死

問 市の調査専門委員会は真相究明を第一に議事録を作成していません。県の要領では「行政の透明性の確保や保護者への説明責任を果たす」と規定されています。今回、真相究明もされてない。文科省へ

報告された同様事案で、議事録を作成していない件はあるのか？

答 調査専門委員会の設置について定めた条例・施行規則には、議事録の作成を義務づけた規定は無く、委員長の見解は、真相究明という職責を果たすためには自由な意見交換と忌憚のない議論が求められ、発言の記録はその制約になりかねないため作成に至らなかったというものです。この事案については県教育委員会を通じて文科省にも報告を行い、文科省ではいじめが原因なのかを判定しています。平成27年度の事案は南国市を含め3件ありますが、文科省ではいじめが直接の原因ではないという判定です。なお、全国で議事録を作っていない事案については確認ができていません。

野村新作 議員



狭い集落内市道の対策を

問 市内には160以上の集落があり、その中で緊急車両の通れない(難い)集落がいくつかある。防災面・救急面で大変危惧されるが対策は。また、市道の未登記が2万筆以上あるが、未登記処理の現状について伺う。

答 市道の中には道幅が狭く、軽四車両も通行できないものがあります。集落と集落を結ぶ主要な幹線市道については、補助事業により現在まで鋭意整備を行っていますが、集落内市道は整備が遅れています。まずは、主要な幹線市道と集落内の主要道路について整備

を進めます。また、南国市制発足当時から、

土地を寄附する同意をいただいた上で登記を行わずに拡幅工事を行っており、それらの未登記については、現在市民の方からの申し出により随時登記事務処理を行っています。今後も同様に対応したいと考えています。

清掃委託事業

問 舟入川等の清掃作業の委託契約書が締結されているが、「作業場所」「作業内容」「作業報告」「作業条件」

はどのように確認をしているか。また、一回の作業でどのくらいのごみが収集されているか伺う。

答 作業内容については、清掃業務として可燃ごみ及び不燃ごみの分別回収と市が指示する場所までへの運搬としています。作業報告は、ごみの清掃実施日

ごとに回収量を1カ月分まとめて提出いただ

いており、作業条件は週1回程度、年間約48回程度となっています。これらの契約内容の確認は、報告書による確認のほか、集められたごみは市の職員が焼却場へ運搬しており、その際に目視で数量などを確認しています。収集量は、各清掃場所とも1回につきごみ袋として5袋から15袋程度となっています。



有沢芳郎 議員



空港インター線の問題について

問 空港インター線で高知県と地元住民の間で、地権者や土木・水利委員や南国市との立会や協議が一切されていない。その結果水路が分断され、田に水が引けず困っている。県との間で工事に必要な手続きを取っているのかを問う。

答 県道空港インター線の施工について、国または県は管理者である市と協議しており、地元説明会や個別の説明を通じて住民の理解を得ながら進めています。この過程をもつて地元の同意があり、かつ市は国または県と協議がなされたものと考

えています。しかし、その当時の協議書等の確認についてはまだできていませんので、早急に確認いたします。

都市計画に岡豊町の位置づけは

問 岡豊町はマスタープランで研究学園都市構想に位置づけられているが、具体的な整備計画は一向に策定されず無計画な民間開発のみに依存した状態である。今回の立地適正化計画にもその状況を打開する手だてがなされておらず、考えを聞く。

答 高知大学医学部附属病院周辺は都市計画マスタープランに産学連携研究学園拠点として位置づけをしています。また、立地適正化計画でも産学連携研究学園拠点としての位置づけを継承していると考えています。しかし、研究学園都市構想は今日まで具体化されてい

ませんでした。

本市では、平成30年度をめどに、県より開発許可権限の移譲を受ける考えであり、本市のまちづくりの方針に沿った開発許可要件の規制緩和策を現在検討しています。こうした規制緩和策により移住を促進しつつ、大学関係者だけでなく全ての地域住民の方々にとって日常生活の利便性が増すような施設を立地しやすくし、この地域で住み続けていただけるような産学連携研究学園拠点としてのまちづくりを進めていきたくと考えています。



浜田憲雄 議員



小集落公民館の新改築補助金制度を

問 各地区の小集落公民館は地域コミュニティ拠点として必要不可欠な施設であるが、老朽化が一段と進み多くが建て替えや部分改修の必要がある。施設維持と住民の工事費負担軽減のため、実態調査を踏まえた補助金制度の導入を求める。

答 小集落公民館の施設維持支援については、市内全域における施設数やそれぞれの建築年、修繕の必要性等について調査を行った結果、各集落で維持管理している126施設の半数近くが何らかの修繕の必要性を抱えているという状況でした。市が

支援を行う場合、今後のメンテナンスを考えると相当の財源が必要になり、支援のあり方・範囲など十分精査し、整理を進めている状況です。施設の全体把握に時間を要し、すぐに要望にお応えできない状態が続いていますが、この調査結果をもとに支援策の方向性を示し、制度設計を進めることにしています。

「し尿処理場」の地震津波対策

問 津波浸水区域内にある施設は南海トラフ地震の激しい揺れや津波により、近隣の浜和田農集処理場と共に長期間にわたり使用不能となることが想定される。「し尿処理機能停止時」の対策と環境センターの事業継続計画(BCP計画)を問う。

答 最大クラスの地震・津波が発生した場合、環境センターの建物や

高度処理設備の損壊、処理棟地下室への汚泥流入、浸水が想定され、処理機能は完全に停止することが予想されます。被災した場合には、施設職員の安全確保を最優先とし、被災状況調査やそれに基づく緊急工事の指示、瓦れき等の撤去や仮設処理設備の設置を行いながら、ライフラインの復旧に伴う早期の施設稼働を図ることになります。現在環境センターのBCP計画は策定できていませんが、東日本大震災、熊本地震の知見に基づき、被害想定を行いながら施設の早期復旧に向け検討を行っています。災害廃棄物対策において、し尿処理対策は優先順位の高い課題であり、災害発生後の生活環境の復旧と改善に迅速に対応できるよう努力します。

福田佐和子 議員



国保税は高すぎる！は市民の声

問 30年度の県単一化で国保税引き上げが想定されている。29年度からの引き上げは2年続くことになり市民負担が重過ぎる。引き上げる前に他の方策を検討したのか。一般会計からの繰り入れを国保会計にだけできないとする理由は何か。

答 国保財政は歳入不足の見込みとなる非常に厳しい状況で、平成29年度国保税率改定についての議案を上程していますが、できるだけ負担をふやさないよう財政安定化支援事業繰入金的全額繰り入れも検討しています。国保特別会計は一定のル

ールに基づく法定内の繰り入れを行っています。したが、一般会計からの法定外繰り入れとしては子供の医療費助成に伴う国庫負担金の減額調整措置について行っています。この減額調整措置は自治体の少子化対策の取り組みを支援する観点から平成30年度より未就学児までを対象とする医療費助成について行われな

ことになり、今後その他の減額措置についても国に対し廃止を要請していきたいと考えています。

全国のいじめ事例を教訓に取り組め

問 いじめ問題を学校と教育委員会だけではなく保護者、地域、関係機関との協力で本気で防止対策に取り組むことを要望する。いじめ防止対策予算を新年度に要求したか。また「議事録・資料の保管」

を調査委員会条例に盛り込むべきでは。

答 いじめ防止対策の新年度予算については、再発防止のための提言に関する各種調査やアンケートパー養成研修、各種支援員の配置、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の再発防止予防の予算等についても要求をしています。また、本年度教職員向けに作成したリーフレットを来年度は保護者向けに改定して配布する予定です。議事録等の保管については、文部科学省が設置しているいじめ防止対策協議会において、現在ガイドライン等の改定に向けた協議が行われており、それを踏まえて今後の指針等の改定を検討したいと考えています。

特別委員会視察レポート

西島園芸団地調査特別委員会 (1/26~27)

西島園芸団地は今年度、メロンの増収や経費削減等の取組みにより大きく経営改善が図られましたが、さらなる発展・安定経営のため先進施設へ視察に伺いました。



コッコファーム（熊本県菊池市） 平井観光農園（福岡県八女市） 三瀬ルベール牧場どんぐり村（佐賀市）

コッコファームは養鶏場を基本に直売所、レストランなど事業の拡張を行い、卵や鶏肉の生産・流通・加工販売と6次産業化やポイントカードの導入で大きな成果を挙げるとともに、新規企業の研修など育成にも力を入れていました。平井観光農園は、イチゴやトマト狩り等を始めてから3年ということですが、PRに以前学ばれたというプロブラム技術を大きく活用しており、オリジナルキャラクターの制作やアプリを利用したゲーム、白菜や春菊を景品とする収穫体験など、様々なアイデア溢れる取り組みが印象的でした。どんぐり村では、動物との触れ合いや野菜の収穫・アイス作りなど豊富な体験メニューの他、会員制度や外国の方へのPRに取り組まれており、また、知的障害者の就労受入も行うなど、地域での大きな役割を果たしていました。

どの施設でも地域との連携を大切にしており、とても学ぶことの多い視察研修でした。

こうなん学校給食センター（香南市）

南国市でも今年秋からの中学校給食の実施に向けて、鷹ヶ池中学校西側で給食センター建設工事が開始されました。

教育民生常任委員会では、平成26年9月に開設された香南市の学校給食センターで運用についてお話を伺いました。



教育民生常任委員会 (2/1)

行政視察受入状況

【H29.1月～3月】



自治体名・人数（会派名等／視察内容）

- 1月17日 愛媛県新居浜市・3名
（企画総務委員会／軽四救急車導入）
- 2月2日 富山県5名
（社民党・無所属議員会／津波対策）
- 6日 広島県府中市・3名
（市民クラブ／食育）
- 7日 埼玉県白岡市・2名
（隼人／まほろば畑）
- 8日 福井県敦賀市・8名
（市政会／防災）
- 22日 兵庫県南あわじ市・7名
（3会派合同／食育）

議 会 日 誌

1月	6日・市政連絡会 16日・市議会だより編集委員会 26～27日・西島園芸団地調査特別委員会 先進地視察（熊本県菊池市、 福岡県八女市、佐賀市）
2月	1日・教育民生常任委員会行政視察 （香南市） 2日・全国広域連携市議会協議会総会 （東京） 3日・全国高速道市議会協議会定期総会 （東京） 6日・市政連絡会 10日・物部川流域三市議会研修会 13日・教育民生常任委員会 20日・食肉センター事務組合議会定例会 27日・市政連絡会
3月	2日・議会運営委員会 3～21日・第394回市議会定例会 3日・市議会だより編集委員会 11日・東日本大震災追悼式 （宮城県岩沼市） 21日・市議会だより編集委員会 29日・ごめん・なはり線活性化協議会総会 ・租税債権管理機構議会定例会 ・香南清掃組合議会

賛否の分かれた議案等

○賛成 ×反対 一議長（議長は賛否に加わりません） 欠…欠席

議員名 議案番号	神崎	植田	浜田	山中	岩松	西川	土居	高木	有沢	中山	前田	村田	岡崎	小笠原治幸	野村	浜田	浜田	土居	福田佐和子	西岡	今西	結果
	隆代	豊	憲雄	良成	永治	潔	恒夫	正平	芳郎	研心	学浩	敦子	純男		新作	和子	勉	篤男		照夫	忠良	
議案 第10号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	—	○	可決
議案 第14号 (修正案)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	○	—	×	否決
議案 第14号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	—	○	可決
議案 第21号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	—	○	可決
議案 第31号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	—	○	可決
議発 第 3 号	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	—	○	否決
議発 第 4 号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	○	—	×	否決

議 決 結 果 一 覧 (3月定例会)

■ 3 月定例会 (3/3～21)

◆ 議 案

《28年度補正予算》

1号・一般会計補正予算	2号・下水道事業特別会計補正予算	} ……全会一致で可決
3号・土地取得事業特別会計補正予算	4号・農業集落排水事業特別会計補正予算	
5号・国民健康保険特別会計補正予算	6号・介護保険特別会計補正予算	
7号・企業団地造成事業特別会計補正予算	8号・後期高齢者医療保険特別会計補正予算	
9号・水道事業会計補正予算		

《29年度予算》

10号・一般会計予算	賛成多数で可決
11号・住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	全会一致で可決
12号・土地取得事業特別会計予算	全会一致で可決
13号・農業集落排水事業特別会計予算	全会一致で可決
14号(修正案)・国民健康保険特別会計予算	賛成少数で否決
14号・国民健康保険特別会計予算	賛成多数で可決
15号・介護保険特別会計予算	全会一致で可決
16号・企業団地造成事業特別会計予算	全会一致で可決
17号・後期高齢者医療保険特別会計予算	全会一致で可決
18号・水道事業会計予算	全会一致で可決
19号・下水道事業会計予算	全会一致で可決

《その他》

20号・税条例等の一部を改正する条例	全会一致で可決
21号・国民健康保険税条例の一部を改正する条例	賛成多数で可決
22号・手数料徴収条例の一部を改正する条例	全会一致で可決
23号・道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	全会一致で可決
24号・準用河川占用料徴収条例の一部を改正する条例	全会一致で可決
25号・法定外公共用財産管理条例の一部を改正する条例	全会一致で可決
26号・立児童館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	全会一致で可決
27号・介護保険条例の一部を改正する条例	全会一致で可決
28号・指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	全会一致で可決
29号・指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る 介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	全会一致で可決
30号・市立共同墓地の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	全会一致で可決
31号・個人情報保護条例の一部を改正する条例	賛成多数で可決
32号・一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	全会一致で可決
33号・企業職員の給与の種類及び基準に関する条例等の一部を改正する条例	全会一致で可決
34号・市道の認定について	全会一致で可決
35号・普通財産の無償貸付けについて	全会一致で可決
36号・普通財産の無償貸付けについて	全会一致で可決
37号・教育委員会委員の任命の同意について	全会一致で同意

◆ 報 告

1号～4号・損害賠償の専決処分の報告について	報 告
------------------------	-----

◆ 議員提出議案 (議発)

1号・無料公衆無線LAN (Wi-Fi) 環境の整備促進を求める意見書 (提出者 神崎隆代議員)	全会一致で可決
2号・主要農作物種子法の廃止に反対する意見書 (提出者 浜田勉議員)	全会一致で可決
3号・共謀罪の創設に反対する意見書 (提出者 土居篤男議員)	賛成少数で否決
4号・公職選挙法改正を求める意見書 (提出者 浜田勉議員)	賛成少数で否決



やぐら2階から市街を望む

岡豊城跡 櫓（やぐら）

岡豊山は、戦国武将の長宗我部氏が城を構えた場所です。現在、岡豊城跡は国指定史跡になっています。その岡豊山の最上部にやぐらが建てられ、3月31日に落成式が行われました。

やぐらは2階建てで高さは約10m。2階部分からは南国市の市街が一望できます（無料）。今春からの志国高知幕末維新博の開幕に合わせて建設され、4月1日、2日の岡豊山桜まつりでは多くの方が訪れ眺望を楽しみました。

国指定史跡にあることから、やぐらの設置は平成31年2月末までとなっていますので、期間中に一度訪れて土佐の歴史を感じてみてはいかがでしょうかでしょう。

なんこく歳時季

巻

2

編集後記

3月定例会は当初予算を決める議会でした。財政、防災、まちづくり、産業振興などの一般質問では市民の熱い想いや願いをしっかりと市政に反映するよう、活発な論戦を展開しました。

世はまさに情報社会、SNSなどインターネットの普及はめざましいものがあります。しかし、このような時代にあつてこそ活字広報紙の持つ意味合いを再確認し、より親しみを持っていただけう、なんこく市議会だよりは今年2月号から紙面を一新しました。市民の幸せと個性豊かな市政創造の一翼を担うべく、今後さらなる紙面の充実に取り組んで参ります。

（今西）

◎市議会だより編集委員会

委員長 土居 恒夫
副委員長 福田 佐和子
委員 神崎 隆代
植田 豊
浜田 勉
今西 良

◆『市議会だより』についてのご意見・ご要望がありましたらお寄せください。

「マチイロ」での 議会だより配信を 開始しました

スマートフォンなどで使える自治体広報アプリ「マチイロ」で南国市議会だよりの配信を開始しました。全国450を超える自治体の広報等をいつでもどこでも無料でご覧になれます。

●アプリで読むには

App Store・Google Playから
「マチイロ」を検索し、ダウンロード



お住まいの地域など簡単な
設定をします。



最新の広報紙が配信されます。

◆表紙写真について◆

3月18日、南国市学童保育連絡協議会の10周年記念大会が開催され、オープニングでは子ども達がよさこい踊りを披露しました。